

大将ヶ根緑地公園の維持・管理



【太子学区】

■世帯数：3,328 世帯

■人 □：7,958 人

■面 積：0.995 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・学区内で一番大きな公園である大将ヶ根緑地公園において毎月1日と15日に除草・清掃活動を行う。参加者数は毎回40～50人。
- ・清掃活動のほか花の苗を植えるなど、公園の自然環境保全に努めている。
- ・また、毎朝、大将ヶ根緑地公園に30～40人が自発的に集まり、ラジオ体操を行い、交流を深めている。

【住民へのPR方法】

チラシの各戸配布、回覧、地元商店などの店先でのポスター掲示

【アピールポイント】

人が集まり、花が咲き、虫と遊ぶ。公園では、子どもから大人まで歩いたり走ったり、健康的に楽しんでいる。清掃活動を通じ地域を大切に、住民同士が仲良くなり、その絆が防災・減災にも大変役立つと思う。

2 きっかけ、背景

以前は愛知用水が太子学区を二分し、子どもが用水に落ちる事故もあったため、住民の願いとして陳情を続けた結果、用水が暗渠化され、その上に大将ヶ根緑地公園ができた。市民の憩いの場となる公園の維持・管理を通じ、地域の絆を深めることを目的として活動を開始した。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
公園隣接の自治会全員
計約 50 人

(2) 他団体との協力

老人クラブ、NPO

(3) 運営協力

公園隣接の自治会員、区政協力委員、
民生委員児童委員など



4 実施のスケジュール

H14 年 8 月末 愛知用水の暗渠化工事が完了名古屋市内へ引き渡し

H14 年 12 月 ~ H15 年 4 月 大将ヶ根緑地実行委員会（住民参加によるワークショップを5回開催）

H16 年 10 月 ~ 公園整備工事

H19 年 4 月 大将ヶ根緑地公園お開園

5 月 ~ 隣接自治会他で役員を決め、公園の除草・清掃活動を開始

H20 年 8 月 11 日 草刈機を購入

毎月 1・15 日 除草・清掃を実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 以前は用水の測道で危険だったが、現在は安全な通学路となっている。
- ・ 公園ができたことにより、学区が一つになり、憩いの場となったほか、活動を通じ住民間の交流と絆が深まった。

(2) 苦労した点

- ・ 活動の担い手や参加者の確保に苦労した。
- ・ 公園ができるまで長期にわたって陳情を続けた。
- ・ 公園をきれいに保つための努力を続けている。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 公園の清掃・維持・管理の活動を若い人に継承すること、他団体との協力体制を築くことが今後の課題。
- ・ 公園を大切にすることにより、住民の地域を大切にする気持ちを高め、互いの絆を深めたい。